

平成27年度 国立淡路青少年交流の家 教育事業  
自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業 実施報告

【趣旨】全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、自然体験指導者（NEAL）リーダーを養成することにより、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子どもの発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を育成する。

【主催】独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家

【共催】神戸市立自然の家

【後援】兵庫県教育委員会、徳島県教育委員会、神戸市教育委員会

【会場】神戸市立自然の家（神戸市灘区六甲山町中一里山1-1）

【日時】平成27年9月1日（火）9：30～9月3日（木）14：30＜2泊3日＞

【講師】立田 慶裕 氏（神戸学院大学教授）

西村 典芳 氏（神戸山手大学教授）

高見 和至 氏（神戸大学准教授）

三浦 正純 氏（神戸市立自然の家所長）

甲斐 知彦 氏（関西学院大学教授）

【主任講師（講習管理者）】

蓬田 高正（国立淡路青少年交流の家事業推進係長兼企画指導専門職）

【参加者数】41名（男子27名、女子14名）

（大学生・専門学校生17名、青少年教育施設職員17名、行政職員3名、民間団体職員4名、）

【プログラム内容】

9月1日（火）

9：30～ 受付・開講式

10：00～11：00 「ガイダンス」（蓬田高正）

- ① 自然体験活動指導者認定制度の仕組み・自然体験活動指導者（リーダー）の役割・認定試験の方法・時間・可否の判定等を説明した。
- ② 事業の内容・流れを説明し、参加者同士で自己紹介を行った。



（自己紹介シートを貼りだし、参加者同士の交流を図ります。）

**11:00～12:30 講義「青少年教育における体験活動」(立田 慶裕 氏)**

青少年教育の目的・目標、青少年教育の内容と青少年の問題や青少年教育の現代的な課題、青少年教育の方法と体験活動の「定義と分類」「意義と効果」について、具体的な法令や施策、実態調査の結果、実践事例等を基に講義が行われた。



(立田講師による講義)

**13:30～15:00 講義「対象者理解」(高見 和至 氏)**

スキヤモンの発達曲線やエリクソンの生涯発達課題を挙げながら、各年齢期の特徴を理解し、高見講師が実践されているキャンプを事例として挙げながら、対象者理解の必要性と方法・対象者への配慮事項についての講義が行われた。



(高見講師による講義)

**15:15～16:45 講義・実技「自然体験活動の技術①」(三浦 正純 氏)**

神戸市立自然の家で実際に行われているアイスブレイキングを体験することを通し、プログラムの効果を直接経験し、自然体験活動に必要な基本的な技術や適切な活動場所について理解した。



(三浦講師による実習「アイスブレイキング」)

**19:00~20:30 講義・演習「自然体験活動の特質①」(西村 典芳 氏)**

会場である神戸市立自然の家のフィールドやそこで行われているプログラムを紹介し、六甲山付近での自然体験活動について、理解を深めた。

9月2日(水)

**9:00~10:30 講義・実技「自然体験活動の技術②」**

**(西村 典芳 氏 三浦 正純 氏)**

自然体験活動を意味のある活動にするため様々なアクティビティ等を組み立てること「プログラムデザイン」について説明があり、ねらいの重要性やプログラムの流れ・構成について理解した。

**10:45~12:15 講義・演習「自然体験活動の特質②」(西村 典芳 氏)**

実際に小学校からプログラム作成及び指導の依頼が来たという想定で、与件を基に、現代の青少年が抱える課題を洗い出し、自然体験活動の意義・効果を踏まえ、プログラムの中から一つのアクティビティをプランニングした。



(グループ毎にアクティビティをプランニングします。)

**13:30~15:00 講義・演習「自然体験活動の技術③」(西村 典芳 氏)**

午前中にプランニングしたアクティビティについて、プレゼンを行い、参加者全員からフィードバックを行い、夜の指導実習に向けたブラッシュアップを行った。



(プレゼンに対して、良かった点・改善点を付箋に書き、各グループにフィードバックします。)



(夜の指導実習に向けて、各グループでアクティビティのブラッシュアップを行います。)

**15:30～18:30 講義・実技「自然体験活動の技術④」(三浦 正純 氏)**

自然体験活動の技術として、ダッチオーブンを使った野外炊事の体験を行った。



(ダッチオーブンを使った野外炊事に挑戦です。)

**19:00～20:30 講義・実技「自然体験活動の指導」(西村 典芳 氏)**

参加者を小学生に見立て、グループ毎に考えたアクティビティを運営・指導する中で、自然体験活動指導者としての基本的な心構えや倫理観について学んだ。



(グループで考えたアクティビティを実際に運営・指導してみます。)

9月3日(木)

**9:00～12:00 講義・実技「自然体験活動の安全管理」(甲斐 知彦 氏)**

自然体験活動における基本的な安全管理について、具体的な事故事例を挙げながら、リスクマネジメントの意義、事故を未然に防ぐための手続き、事故を招く要因等について、説明があった。また応急処置について、意識不明者の対応だけでなく、様々な状況を想定して急病人やけが人への対応について説明があった。



(甲斐講師による講義)

### 13:00～13:30 「全体のふりかえり」(蓬田高正)

事業全体をふりかえって、質疑応答が行われた。また残りの時間は認定試験に向けて、自主学習の時間とした。

### 13:30～14:00 「認定試験」



(認定試験の様子)

### 14:00～14:30 「閉講式」及び事務連絡

#### 【参加者の声】(○→プラス評価 ●→マイナス評価)

- どのプログラムも内容が豊富で濃密だった。
- 多くの方と繋がりができた。
- 講師の方には、厳しくも優しく指導していただき、良かった。
- インストラクター・コーディネーターの養成講習を関西地区で開いてもらえるとうれしいです。
- 雨によるプログラム変更など、主催者・講師・施設の連携がうまく取れていた。
- 1時間のアクティビティを15分で指導実習するのは少し無理があると思います。
- 休憩時間をもう少し確保して欲しかったです。

#### 【担当者所見】

国立淡路青少年交流の家では、青少年教育のナショナルセンターとして体験活動指導者の養成・資質向上の機会の充実を重点事項として掲げ、今年度初めて全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、近畿地区青少年教育施設協議会加盟の神戸市立自然の家との共催で自然体験指導者(NEAL)リーダーを養成する事業を実施した。

今回は自然体験指導者(NEAL)リーダーとして活躍してほしい学生、体験活動推進の担い手としての青少年教育施設職員をターゲットに、企画・立案を進め、結果として17名の学生及び17名の青少年教育施設職員の参加をいただいた。

担当者の所見として、以下の二点を挙げたい。

(1) 様々な観点・テーマからの体験活動指導者研修の実施

今回は自然体験活動指導者（NEAL リーダー）養成事業として、カリキュラムに則ったプログラムを実施した。その他に体験活動指導者にとって必要な能力・資質はたくさんあり、それを分かりやすく、必要に応じてテーマを絞り、より多くの指導者に身につけてもらえるような研修会の実施を検討していかなければならない。

(2) 自然体験指導者（NEAL）リーダーとしての活躍の場の提供

今回は全員が認定試験に合格し、自然体験指導者（NEAL）リーダーとして認定されることとなった。その活躍の場の提供が課題となろう。

青少年教育施設職員は、普段の業務でその資格を活かすことができるが、大学生は自ら活躍の場を見つけない限り、その資格を活かすことができない。

国立淡路青少年交流の家では、ボランティアの参画機会の充実も重点事項として掲げており、今回参加した学生が登録ボランティアとして教育事業等で活躍できるような機会を検討していく必要がある。